

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報							
事務事業名	生涯学習活動増進事業(まなび力)					事業No.	
事業担当課	まちづくり部 市民活動課	所属長	井尻 宏幸	担当者	小島 克弘		
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	生涯学習総務費			
	新規・継続・臨時区分	継続		成人教育事業			
	会計区分	一般					
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち				
		②					
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう				
		②					
	施策の展開	①	①生涯学習の支援		②		
①		②青少年の育成		②			
根拠法令・個別計画等	教育基本法、社会教育法、丹波市生涯学習基本計画						
事業期間	開始年度	27	年度	～	終了年度	無期	年度

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	生涯学習活動を行う市民・団体等				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	継続して学び、主体的に学びをつくる、「まなび力」を育てる。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式の開催 ・障がい者教育事業 ・TAMBA地域づくり大学 ・活躍市民によるまちづくり事業補助金 ・生涯学習基本計画後期計画策定 ・まなびの里づくり協議会 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	成人式の開催 TAMBA地域づくり 大学の実施 青少年パワーアッ プ事業の実施 生涯学習基本計画 の周知・啓発	成人式の開催 TAMBA地域づくり 大学の実施 生涯学習基本計画 の周知・啓発	成人式の開催 TAMBA地域づくり 大学の実施 活躍市民によるま ちづくり事業補助金 の交付 市民プラザ基本計 画策定業務	成人式の開催 TAMBA地域づくり 大学の実施 活躍市民によるま ちづくり事業補助金 の交付	成人式の開催 TAMBA地域づくり 大学の実施 活躍市民によるま ちづくり事業補助金 の交付 生涯学習基本計画 後期計画策定
令和元年度事業 及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式(2,508千円) ・地域づくり大学(1,734千円) ・身体障がい者学級(383千円) ・生涯学習基本計画審議会(332千円) ・まなびの里づくり協議会(339千円) ・活躍市民によるまちづくり事業補助金(2,700千円) ・生涯学習市民アンケート(414千円) 				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	15,084	15,811	47,469	46,065	44,593
直接事業費A	11,004	11,731	19,729	13,705	9,163
職員従事者数(人・年)B	0.51	0.51	3.65	4.20	4.58
人件費C=B×7,500千円	4,080	4,080	27,740	31,500	34,350
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.43	0.54
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	860	1,080
特定財源	0	100	100	3,300	1,480
国・県支出金	0	0	0	1,300	750
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	100	100	100	30
その他特財	0	0	0	1,900	700
一般財源	15,084	15,711	47,369	42,765	43,113

3. 指標等の進捗管理										
目標 達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標	
	成果	学びの活動で身についた知識や技能を生かしたいと思う市民の割合	%	生涯学習基本計画指標(意識調査)	31	32	33	34	35	
	活動	青少年パワーアップ事業実施団体数	団体	青少年パワーアップ事業実施団体数	29	38	34	42		
	活動	TAMBA地域づくり大学受講者数	人	TAMBA地域づくり大学受講者数	30	-	-	-	-	
	活動	生涯学習振興補助金【促進補助金分】実施団体数	団体	生涯学習振興補助金【促進補助金分】実施団体数	15	-	-	-	-	
					20	20	20	20	30	
					70	89	70	50		
					-	10	10	10	10	
					-	11	11	8		

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報						
事務事業名	生涯学習施設等管理・統括事業					事業No.
事業担当課	まちづくり部 市民活動課	所属長	井尻 宏幸	担当者	小島 克弘	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	住民センター 総務費		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
①			②			
根拠法令・個別計画等	丹波市生涯学習施設整備方針(適正配置計画)					
事業期間	開始年度	27	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要						
対象(誰を、何を)	生涯学習施設を利用する市民、生涯学習施設					
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> 市民の学びの要求に応えるとともに、持続可能な施設整備を行い、運営する。 施設利用者に対する適切な使用料の設定と徴収を行う。 					
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設全般を総括し、生涯学習施設整備方針(適正配置計画)に基づき、施設整備(更新・改修・廃止・指定管理者制度の導入等)を行う。 生涯学習施設(住民センター)のより効果的・効率的な管理運営を図る。 公共施設予約システムの管理 					
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	○住民センター総務費 ・生涯学習施設修繕料 ・自動券売機保守料 ・公共予約システム利用料、システム更新料	○住民センター総務費 ・生涯学習施設修繕料 ・自動券売機保守料 ・公共予約システム利用料、システム更新料	○住民センター総務費 ・生涯学習施設修繕料 ・自動券売機保守料 ・公共予約システム利用料、システム更新料	○住民センター総務費 ・生涯学習施設修繕料 ・自動券売機保守料 ・公共予約システム利用料、システム更新料	○住民センター総務費 ・自動券売機保守 ・公共予約システム保守 ・更新	
令和元年度事業 及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 自動券売機保守委託料(941千円) 公共予約システム改修委託料(550千円) 公共予約システム利用料(916千円) 					
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	
総事業費A+C+E	8,965	6,638	4,789	6,830	5,300	
直接事業費A	6,645	4,318	3,117	2,930	3,800	
職員従事者数(人・年)B	0.29	0.29	0.22	0.52	0.20	
人件費C=B×7,500千円	2,320	2,320	1,672	3,900	1,500	
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0	
特定財源	0	0	0	0	0	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
借入金(地方債)	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他特財	0	0	0	0	0	
一般財源	8,965	6,638	4,789	6,830	5,300	

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
	活動		%	実利用時間数/利用可能時間数	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	住民センター(6館)平均稼働率				30	30	30	30	30
	活動		人	住民センター(6館)使用人数	150000	150000	150000	150000	150000
	住民センター(6館)使用人数				152928	200823	202778	192215	

令和 元 年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報							
事務事業名	スポーツ推進・統括事業					事業No.	
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	所属長	高見 智幸	担当者	岡本 渡	山本、田中、足立、大南	
事業区分	実施計画区分	該当	予算	スポーツ振興総務費			
	新規・継続・臨時区分	継続	小事業名	スポーツ推進委員活動事業			
	会計区分	一般		(地域スポーツ振興事業)			
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち				
		②					
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう				
		②					
施策の展開		①	④スポーツの振興	②			
		①		②			
根拠法令・個別計画等	スポーツ基本法、丹波市スポーツ推進計画、丹波市生涯学習基本計画						
事業期間	開始年度	27	年度	～	終了年度	無期	年度

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	スポーツをする市民、スポーツに関心のない市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	成人の週1回以上のスポーツに取組む環境を確保してスポーツ実施率を高めることを目指す。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会を定期的に開催し、スポーツ推進計画進捗状況の検証並びにスポーツ施策の推進に係る意見を聴取する。 ・丹波市スポーツ協会により市民向け情報発信をしたり、研修会や事業の集約や規模拡大を推進する。 ・アスリート育成特別支援事業等を活用し、スポーツ協会等の指導者や障害者スポーツ指導者を育成する。 ・地域スポーツ活動の指導者としてスポーツ推進委員を派遣する。障がい者スポーツの普及を図る。 ・丹波市生涯学習施設整備方針【適正配置計画】に基づきスポーツ施設の整理統合を実施する。また28年度にスポーツ施設等老朽度調査による長寿命化計画を策定したので、その計画に基づいて施設の修繕や補修等を担当課へ依頼する。 ・スポーツ施設及び小中学校の施設開放事業の円滑な利用、管理・運営を行う。 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ振興総務費 ・スポーツ推進審議会委員報酬 ・谷川ハーターゴルフ場撤去工事 ・屋外照明コイントイ設置工事 ・丹波市スポーツ推進計画策定業務(繰越) ○地域スポーツ振興事業 ・体育協会補助金 ○スポーツ推進委員活動事業 ・スポーツ推進委員報酬 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ振興総務費 ・スポーツ推進審議会委員報酬 ・スポーツ施設等老朽度調査 ・屋外照明コイントイ設置工事 ○地域スポーツ振興事業 ・体育協会補助金 ○スポーツ推進委員活動事業 ・スポーツ推進委員報酬 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ振興総務費 ・スポーツ推進審議会委員報酬 ○地域スポーツ振興事業 ・スポーツ協会補助金 ○スポーツ推進委員活動事業 ・スポーツ推進委員報酬 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ振興総務費 ・スポーツ推進審議会委員報酬 ○地域スポーツ振興事業 ・スポーツ協会補助金 ○スポーツ推進委員活動事業 ・スポーツ推進委員報酬 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ振興総務費 ・スポーツ推進審議会委員報酬 ・学校グラウンド屋外照明灯具更新工事 ○地域スポーツ振興事業 ・スポーツ協会補助金 ・障がい者スポーツ推進委員会 ○スポーツ推進委員活動事業 ・スポーツ推進委員会活動
令和元年度事業及び積算内容	スポーツ推進審議会 3回実施予定 (委員報酬3,500+費用弁償1,200)×15名×3回=211,500円 学校グラウンド屋外照明灯具更新工事 小学校3校 総工事費1,900千円 スポーツ協会補助金 7,640千円 各スポーツイベント実行委員会補助金 6,500千円 障がい者スポーツ推進委員会 (委員報酬3,500+費用弁償1,600)×12名×3回=183,600円 スポーツ推進委員会活動 委員報酬42,000×30名=1,260千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	37,103	61,447	40,108	39,731	37,987
直接事業費A	10,783	34,647	16,624	14,651	17,353
職員従事者数(人・年)B	3.29	3.35	3.09	3.30	2.75
人件費C=B×7,500千円	26,320	26,800	23,484	25,080	20,610
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	24
特定財源	0	0	0	0	0
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	37,103	61,447	40,108	39,731	37,987

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	成果	スポーツ実施率(週1回以上)	%	説明・算定式 週1回以上スポーツをしている人の割合	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
	成果	障がい者スポーツ大会参加者数	人	ふれあいスポーツの集い参加者数	300	300	250	250	250
					246	214	192	176	
	成果	スポーツ推進委員活動数	件	生涯スポーツの普及・指導等件数	320	320	350	350	350
					281	340	402	350	
	成果	少年少女スポーツ指導者研修会参加者数	人	体育協会指導者研修会参加者数	300	300	300	300	300
250					180	163	163		

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	地域スポーツ推進事業					事業No.	
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	所属長	高見 智幸	担当者	岡本 渡	山本・田中・足立・大南	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	地域スポーツ振興事業			
	新規・継続・臨時区分	継続					
	会計区分	一般					
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち				
		②					
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう				
		②					
施策の展開	①	④スポーツの振興	②				
	①		②				
根拠法令・個別計画等	スポーツ基本法、丹波市スポーツ推進計画、丹波市生涯学習基本計画						
事業期間	開始年度	27	年度	～	終了年度	無期 年度	

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	スポーツを「する」「見る」「ささえる」人				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	・スポーツを「する」「見る」「ささえる」人を増やす。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<p>・地域スポーツ振興補助金の交付により地域での健康づくりを支援する。</p> <p>・スポーツを「する人(参加する人)」「見る人(応援する人)」「支える人(ボランティアスタッフ)」が地域ぐるみで主体的に活躍できるように、スポーツイベント(三ツ塚マラソン大会、もみじの里ハーフマラソン大会、全国高等学校女子硬式野球大会)を開催する。</p> <p>・安定したスポーツイベントの実施に向けて、実行委員会が自立してイベント運営をするよう指導を行う。平成27年度に会計事務を実行委員会組織に移行するとともに、運営体制や企画案についても実行委員会が主体的に取り組んでいけるようノウハウの提供や好事例の情報発信などの支援を行う。</p>				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	○地域スポーツ振興事業 ・体育振興事業委託料 ・生涯学習振興補助金 ・生涯学習振興補助金(債務負担)	○地域スポーツ振興事業 ・体育振興事業委託料 ・生涯学習振興補助金 ・生涯学習振興補助金(債務負担)	○地域スポーツ振興事業 ・体育振興事業委託料 ・生涯学習振興補助金 ・生涯学習振興補助金(債務負担)	○地域スポーツ振興事業 ・地域スポーツ振興補助金 ・生涯学習振興補助金 ・生涯学習振興補助金(債務負担)	○地域スポーツ振興事業 ・地域スポーツ振興補助金 ・生涯学習振興補助金 ・生涯学習振興補助金(債務負担)
令和元年度事業 及び積算内容	地域スポーツ振興補助金 3,568千円(17件) 生涯学習振興補助金 5,550千円(もみじマラソン2,100千円、三ツ塚マラソン950千円、女子高校野球大会2,300千円、ちーたん駅伝200千円) 生涯学習振興補助金(債務負担行為) 三ツ塚マラソン 950千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	25,704	29,457	28,205	29,317	30,180
直接事業費A	12,024	11,377	10,117	10,317	10,181
職員従事者数(人・年)B	1.71	2.26	2.38	2.50	2.66
人件費C=B×7,500千円	13,680	18,080	18,088	19,000	19,965
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	34
特定財源	0	0	0	0	0
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	25,704	29,457	28,205	29,317	30,180

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	マラソン大会の参加者数	人	市内2マラソン大会の参加者数	5,000	5,000	4,000	4,000	4,000
				2,107	3,984	3,963	3,458	
	マラソン大会のボランティア人数	人	市内2マラソン大会のボランティア人数	600	600	600	600	600
				292	595	656	436	
駅伝大会参加者数	人	市内駅伝大会参加者数	600	600	600	600	600	
			535	594	409	389		
成果	春のイベント入場者数	人	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦入場者数	1500	1500	0	0	0
				1300	1600	0		

1. 基本情報							
事務事業名	家庭・青少年教育事業					事業No.	
事業担当課	教育部 子育て支援課		所属長	上田 貴子	担当者	勢志美代子	足立 大希
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	子育て支援事業		ファミリーサポート事業	
	新規・継続・臨時区分	継続		子育て学習センター運営事業			
	会計区分	一般		社会教育総務費			
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【1】みんなで支え育む生涯健康のまち				
		②	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち				
	施策目標	①	1-6【子育て支援】子どもを産み育てやすい環境をつくろう				
		②	5-4【幼児教育・保育】、5-6【生涯学習】				
施策の展開	①	①子育て支援の充実		②	③子育て拠点の充実		
	①			②			
根拠法令・個別計画等	社会教育法、子ども・子育て支援法、丹波市子ども・子育て支援事業計画						
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	子育て中の保護者、PTA会員、子育てを支援する市民				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての子育て家庭が、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられる。 ・子育て家庭への相談支援体制が整うことで、安心して子育てができるまちを創る。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6カ所で子育て学習センターを開設 ・子育て世代を対象に家庭教育に関する講演会や講座などを実施 ・市内全ての認定こども園において、子育て支援事業を展開 ・丹波市PTA連合会への支援 ・市内2事業所でファミリーサポートセンター事業を実施 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会、講座の実施 ・子育て自主グループ活動の育成支援 ・青少年主張大会 ・ファミリーサポートセンター事業の委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会、講座の実施 ・子育て自主グループ活動の育成支援 ・青少年主張大会 ・ファミリーサポートセンター事業の委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座、講演会などの実施 ・子育て自主グループ活動の育成支援 ・ファミリーサポートセンター事業の委託 ・子育てピアサポーターの育成、支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座、講演会などの実施 ・子育て自主グループ活動の育成支援 ・ファミリーサポートセンター事業の委託 ・子育てピアサポーターの育成、支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に関する講演会などの実施 ・子育て自主グループ活動の育成支援 ・ファミリーサポートセンター事業の委託 ・子育てピアサポーターの育成、支援
令和元年度事業及び積算内容	子育て支援事業2,716千円、子育て学習センター事業10,995千円、社会教育総務費560千円、ファミリーサポート事業4,098千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	58,191	61,709	55,174	54,011	56,394
直接事業費A	19,271	21,789	16,050	15,799	18,369
職員従事者数(人・年)B	1.99	1.99	1.99	1.87	1.87
人件費C=B×7,500千円	15,920	15,920	15,124	14,212	14,025
非常勤職員従事者数(人・年)D	11.50	12.00	12.00	12.00	12.00
人件費E=D×2,000千円	23,000	24,000	24,000	24,000	24,000
特定財源	6,632	29,710	31,764	32,176	32,958
国・県支出金	6,532	29,600	31,684	32,098	32,890
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	80	90	80	78	68
その他特財	20	20	0	0	0
一般財源	51,559	31,999	23,410	21,835	23,436

3. 指標等の進捗管理									
目標達成状況	成果	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
					H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
目標達成状況	成果	子育て自主グループ数	団体	子育て学習センターで活動しているグループ数	53	56	58	65	67
	成果	子育て学習センター自由来館者数	人	年間延べ人数	38,000	39,000	40,000	46,000	47,000
	成果	ファミリーサポートセンター事業利用件数	件	年間延べ件数	300	310	320	320	320
	成果	市の子育て支援・環境への満足度	%	満足度調査の「高い」「やや高い」の割合	30.0	31.0	32.0	53.0	55.0
					27.0	33.5	50.3	48.5	

令和元年度 総合計画実施計画表

事務事業名	柏原住民センター管理業務				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 柏原支所	所属長	中道 豊	担当者	加賀山 敦	藤本 将司
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	柏原住民センター管理業務		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
①			②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立住民センター条例、施行規則、丹波市生涯学習施設整備方針					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

対象(誰を、何を)	主に柏原地域で生活する市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や憩いの場として、多くの方が利用している。 安全で効率的な施設運営がされている。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館状況：年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 開館時間：9時00分～22時00分 受益者負担：丹波市立住民センター条例に基づき使用料を徴収している。 <ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持、管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 体育館アリーナ吊天井耐震化工事の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	市民及びグループが恒常的に集い、自発的な諸活動、市民交流が行われる施設として住民センターを運営するための日常的な管理を行う。				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	39,522	94,333	33,552	32,558	31,539
直接事業費A	27,722	80,333	17,520	18,958	18,039
職員従事者数(人・年)B	0.60	1.00	1.32	1.00	1.00
人件費C=B×7,500千円	4,800	8,000	10,032	7,600	7,500
非常勤職員従事者数(人・年)D	3.50	3.00	3.00	3.00	3.00
人件費E=D×2,000千円	7,000	6,000	6,000	6,000	6,000
特定財源	4,617	61,269	5,008	4,920	4,961
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	57,000	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	4,617	4,269	5,008	4,920	4,961
一般財源	34,905	33,064	28,544	27,638	26,578

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	柏原住民センター利用件数	件	年間延べ利用件数	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
				8,390	8,118	8,342	8,959	7,500
成果	柏原住民センター利用人数	人	年間延べ利用人数	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
				64,807	59,590	66,197	78,055	65,000
成果	柏原住民センター稼働率	%	実利用枠数/全利用枠数	16	16	16	16	16
				23.2	29.4	30	25.4	16
成果	柏原住民センター維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				1	0	1	0	0

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	氷上住民センター管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 氷上支所	所属長	岡本 晃三	担当者	足立 宏樹	前田 大志
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	氷上住民センター管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
		①		②		
根拠法令・個別計画等	丹波市立氷上住民センター条例					
事業期間	開始年度	23	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	主に氷上地域で生活する市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や憩いの場として、多くの方が利用している。 安全で効率的な施設運営がされている。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 体育館のみ月曜日(祝日の場合は翌日以降の休日に当たらない最初の日)は休館日 開館時間: 9時00分～22時00分 運営方法: 直営 受益者負担: 1時間150円～				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業 及び積算内容	氷上住民センターの日常管理業務 ・需用費5,703千円(消耗品費651千円、燃料費45千円、水道代212千円、電気代3,777千円、ガス代88千円、修繕料930千円) ・役員費1,058千円(電話代792千円、郵券料10千円、手数料等37千円、火災保険料30千円、損害保険料189千円) ・委託料6,511千円(施設管理2,435千円、保守点検2,358千円、警備59千円、清掃1,659千円) ・使用料及び賃借料733千円(印刷機リース205千円、複合機リース351千円、清掃用具借上177千円)				
コスト(千円)	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	34,219	29,030	27,024	26,959	25,411
直接事業費A	20,619	15,430	15,880	15,815	14,321
職員従事者数(人・年)B	0.70	0.70	0.54	0.54	0.54
人件費C=B×7,500千円	5,600	5,600	4,104	4,104	4,050
非常勤職員従事者数(人・年)D	4.00	4.00	3.52	3.52	3.52
人件費E=D×2,000千円	8,000	8,000	7,040	7,040	7,040
特定財源	1,944	3,188	3,356	3,621	3,312
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	2,762	2,945	3,221	2,960
その他特財	1,944	426	411	400	352
一般財源	32,275	25,842	23,668	23,338	22,099

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	氷上住民センター利用件数	件	年間延べ利用件数	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				3,271	3,395	3,686	3,538	
成果	氷上住民センター利用人数	人	年間延べ利用人数	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000
				48,055	57,359	59,902	53,602	
成果	氷上住民センター稼働率	%	氷上住民センター稼働率	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
				17.5	20.0	21.0	18.7	
成果	氷上住民センター維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	氷上勤労青少年ホーム管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 氷上支所	所属長	岡本 晃三	担当者	足立 宏樹	前田 大志
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	氷上勤労青少年ホーム管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
		①		②		
根拠法令・個別計画等	丹波市立氷上勤労青少年ホーム条例					
事業期間	開始年度	23	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	主に氷上地域で生活する市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や憩いの場として、多くの方が利用している。 安全で効率的な施設運営がされている。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)、月曜日(祝日の場合は翌日以降の休日に当たらない最初の日)を除く毎日 開館時間: 9時00分～22時00分 運営方法: 直営 受益者負担: 1時間150円～				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 需用費859千円(消耗品費81千円、水道代144千円、ガス代84千円、修繕料550千円) 役務費24千円(ピアノ調律16千円、火災保険料8千円) 委託料295千円(保守点検89千円、警備59千円、清掃147千円) 使用料及び賃借料8千円(ガス警報器) - 償還金5千円 				
コスト(千円)	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	2,234	1,971	2,019	2,129	2,129
直接事業費A	1,434	1,571	887	1,293	1,191
職員従事者数(人・年)B	0.10	0.05	0.12	0.11	0.10
人件費C=B×7,500千円	800	400	912	836	750
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	220	0	0
特定財源	927	351	368	345	345
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	306	368	345	379
その他特財	927	45	0	0	0
一般財源	1,307	1,620	1,651	1,784	1,784

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	氷上勤労青少年ホーム利用件数	件	年間延べ利用件数	800	800	800	800	800
成果	氷上勤労青少年ホーム利用人数	人	年間延べ利用人数	850	978	947	969	11,000
成果	氷上勤労青少年ホーム稼働率	%	氷上勤労青少年ホーム稼働率	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5
成果	氷上勤労青少年ホーム維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	大師の杜管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 氷上支所	所属長	岡本 晃三	担当者	足立 宏樹	前田 大志
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	大師の杜管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
		①		②		
根拠法令・個別計画等	丹波市立スポーツ施設条例					
事業期間	開始年度	23	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	主に氷上地域で生活する市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や憩いの場として、多くの方が利用している。 安全で効率的な施設運営がされている。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)、月曜日(祝日の場合は翌日以降の休日に当たらない最初の日)を除く毎日 開館時間: 9時00分～22時00分 運営方法: 直営 受益者負担: 1時間150円～				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 需用費2,709千円(消耗品費209千円、燃料費4千円、電気代1,608千円、水道代288千円、修繕料600千円) 役務費131千円(電話代60千円、ピアノ調律16千円、火災保険料55千円) 委託料2,275千円(施設管理1,673千円、保守点検241、警備62千円、清掃299千円) 使用料及び賃借料99千円(清掃用具借上) 償還金10千円 				
コスト(千円)	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	9,872	6,445	6,142	8,984	6,724
直接事業費A	6,672	5,085	4,626	7,468	5,224
職員従事者数(人・年)B	0.40	0.17	0.16	0.16	0.16
人件費C=B×7,500千円	3,200	1,360	1,216	1,216	1,200
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.15	0.15	0.15
人件費E=D×2,000千円	0	0	300	300	300
特定財源	713	647	750	567	567
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	545	646	465	761
その他特財	713	102	104	102	103
一般財源	9,159	5,798	5,392	8,417	8,117

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	大師の杜利用件数	件	年間延べ利用件数	900	900	900	900	900
				684	646	669	616	
成果	大師の杜利用人数	人	年間延べ利用人数	17,000	17,000	11,000	11,000	11,000
				12,690	10,328	13,138	11,793	
成果	大師の杜稼働率	%	大師の杜稼働率	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
				7.0	7.9	8.8	7.4	
成果	大師の杜維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				1	0	0	0	

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	氷上総合グラウンド管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 氷上支所	所属長	岡本 晃三	担当者	足立 宏樹	前田 大志
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	氷上総合グラウンド管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
		①		②		
根拠法令・個別計画等	丹波市立スポーツ施設条例					
事業期間	開始年度	23	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	主に氷上地域で生活する市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や憩いの場として、多くの方が利用している。 安全で効率的な施設運営がされている。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)、月曜日(祝日の場合は翌日以降の休日に当たらない最初の日)を除く毎日 開館時間: 9時00分～22時00分 運営方法: 直営 受益者負担: 1時間520円～				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理及び運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 需用費3,623千円(消耗品335千円、燃料費44千円、電気代1,704千円、水道代540千円、修繕料500千円) 役務費78千円(電話代72千円、火災保険料6千円) 委託料2,618千円(施設管理2,300千円、保守点検252千円、施設警備66千円) 工事請負費1,100千円(野球場内野整備) ・原材料費141千円 ・備品購入費20千円 ・償還金30千円 				
コスト(千円)	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	12,185	10,142	9,425	9,716	9,925
直接事業費A	10,585	8,542	7,085	7,376	7,610
職員従事者数(人・年)B	0.20	0.20	0.25	0.25	0.25
人件費C=B×7,500千円	1,600	1,600	1,900	1,900	1,875
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.22	0.22	0.22
人件費E=D×2,000千円	0	0	440	440	440
特定財源	1,593	2,175	1,753	2,275	2,275
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	2,123	1,694	2,224	1,700
その他特財	1,593	52	59	51	50
一般財源	10,592	7,967	7,672	7,441	6,925

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	氷上総合グラウンド利用件数	件	年間延べ利用件数	500	500	500	500	500
				598	621	765	576	
	氷上総合グラウンド利用人数	人	年間延べ利用人数	13,000	13,000	13,000	25,000	25,000
				25,638	20,478	29,734	25,472	
氷上総合グラウンド稼働率	%	氷上総合グラウンド稼働率	14.0	14.0	16.0	16.0	16.0	
			14.0	16.2	24.3	14.3		
氷上総合グラウンド維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0		

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業(青垣支所)					事業No.	
事業担当課	まちづくり部 青垣支所	所属長	杉上 厚史	担当者	古川 徳晴		
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	指定管理者導入施設管理事業			
	新規・継続・臨時区分	継続					
	会計区分	一般					
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち				
		②					
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう				
		②					
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②			
		①		②			
根拠法令・個別計画等	地方自治法						
事業期間	開始年度	27	年度	～	終了年度	31	年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	指定管理対象施設を導入した施設・団体				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> ・公の施設の管理運営に民間活力を導入し、事業者が有する経営ノウハウを活かした利用者サービスの向上、効率的な維持管理による経費の節減や施設の利活用が進んでいる。 ・地域とのつながりを密に維持管理運営がなされ、親しみを感じてもらえる施設として定着し、地元雇用が継続している。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設業務の進捗管理を行い、指定管理者との連携のもと、随時状況把握を行い、必要な情報提供と適切な助言を行う。 ・指定管理料の支出状況の確認を行い、健全な運営のための指導助言を行う。 ・指定管理施設の良好な管理、安定的な運営のために随時必要な修繕や改修を行う。 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の進捗管理、指導助言 ・指定管理料の支出状況の確認・指導助言 ・指定管理料の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の進捗管理、指導助言 ・指定管理料の支出状況の確認・指導助言 ・指定管理料の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の進捗管理、指導助言 ・指定管理料の支出状況の確認・指導助言 ・指定管理料の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の進捗管理、指導助言 ・指定管理料の支出状況の確認・指導助言 ・指定管理料の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の進捗管理、指導助言 ・指定管理料の支出状況の確認・指導助言 ・指定管理料の精査 ・指定管理実績の総括(1期の最終年度)
令和元年度事業及び積算内容	修繕料 3,128千円(青垣-ろ過機等修繕2,000千円、春日-幼児プールろ過機更新573千円、ロックリバー揚水ポンプ更新405千円、ロックリバーウォータースライダー表面塗装150千円) 役務費 49千円(火災保険料) 委託料 75,114千円(指定管理委託料)				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	82,905	80,438	107,494	82,875	81,816
直接事業費A	80,065	77,598	99,894	79,303	78,291
職員従事者数(人・年)B	0.355	0.355	1.00	0.47	0.47
人件費C=B×7,500千円	2,840	2,840	7,600	3,572	3,525
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	6	9	10,908	8	7
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	10,900	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	6	9	8	8	7
一般財源	82,899	80,429	96,586	82,867	81,809

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
				成果	施設利用者数	人	指定管理施設実績報告書	45,000
成果	施設利用者の満足度	%	一定期間の施設利用者を対象としたアンケート集計結果	100	100	90	90	90
活動	施設運営上のトラブル件数	件	修繕実績のうち、運営上に支障が生じた件数	0	0	0	0	0
				52,589	59,262	58,618	64,356	
				0	60	74	75	
				7	4	3	2	

令和元年度 総合計画実施計画表

事務事業名	青垣住民センター管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 青垣支所	所属長	杉上 厚史	担当者	足立 裕子	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	青垣住民センター管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
①			②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立住民センター条例					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

対象(誰を、何を)	主に青垣地域で生活する市民				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や憩いの場として、多くの方が利用している。 安全で効率的な施設運営がされている。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日：年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 開館時間：8時30分～22時00分 運営方法：直営 受益者負担：1時間150円～				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 光熱水費8,726千円、修繕料1,394千円、施設管理委託料4,957千円、保守点検委託料4,122千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	35,784	29,525	65,914	27,333	79,880
直接事業費A	29,520	23,261	59,634	21,053	73,630
職員従事者数(人・年)B	0.283	0.283	0.300	0.30	0.30
人件費C=B×7,500千円	2,264	2,264	2,280	2,280	2,250
非常勤職員従事者数(人・年)D	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費E=D×2,000千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
特定財源	2,105	2,591	39,593	2,393	47,074
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	37,400	0	44,600
受益者負担金	0	0	2,093	2,294	1,877
その他特財	2,105	2,591	100	99	597
一般財源	33,679	26,934	26,321	24,940	32,806

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	青垣住民センター利用件数	件	年間延べ利用件数	2,500	2,500	3,000	3,000	3,000
				2,385	2,626	2,987	3,806	
成果	青垣住民センター利用人数	人	年間延べ利用人数	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000
				37,946	48,912	41,280	42,316	
成果	青垣住民センター稼働率	%	利用枠数÷開館枠数(部屋+アリーナ)	12.0	12.0	14.0	14.0	14.0
				11.4	13.4	21.4	27.9	
成果	青垣住民センター維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				1	0	1	2	

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	いきものふれあいの里管理・運営事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 青垣支所	所属長	杉上 厚史	担当者	足立 裕子	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	いきものふれあいの里管理・運営事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
		①		②		
根拠法令・個別計画等	丹波市立青垣いきものふれあいの里条例					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	全ての市民、施設利用者					
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	身近な自然の中で、野鳥や昆虫等の小動物および植物の観察を通じて、自然の大切さや自然との関わり方を学ぶ機会と情報を提供することにより、子どもから大人まで幅広い年代層の市民が身近な自然に親しみをもち、環境保全の必要性を理解している。					
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会、野鳥観察会等の各種講座・学習会の開催 ・各種野外活動アシスタント養成講座 ・季節の山野草展等の企画展の開催 ・自然学校の受け入れ、出前講座の開催 ・施設の維持管理 					
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	・観察会、学習会、出前事業などの講座開催 ・企画展 ・生物の調査・保全活動	・観察会、学習会、出前事業などの講座開催 ・企画展 ・生物の調査・保全活動	・観察会、学習会、出前事業などの講座開催 ・企画展 ・生物の調査・保全活動	・観察会、学習会、出前事業などの講座開催 ・企画展 ・生物の調査・保全活動	・観察会、学習会、出前事業などの講座開催 ・企画展 ・生物の調査・保全活動	
令和元年度事業 及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会、学習会、出前事業などの講座開催 ・企画展 ・生物の調査・保全活動 光熱水費1,392千円、修繕費788千円、施設管理委託料495千円、保守点検委託料526千円					
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	
総事業費A+C+E	17,243	16,390	20,132	17,243	16,915	
直接事業費A	7,275	5,718	10,232	6,051	5,765	
職員従事者数(人・年)B	0.246	0.334	0.25	0.42	0.42	
人件費C=B×7,500千円	1,968	2,672	1,900	3,192	3,150	
非常勤職員従事者数(人・年)D	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
人件費E=D×2,000千円	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
特定財源	46	46	70	48	56	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
借入金(地方債)	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他特財	46	46	70	48	56	
一般財源	17,197	16,344	20,062	17,195	16,859	

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
				成果	青垣いきものふれあいの里利用人数	人	青垣いきものふれあいの里利用人数	9,000
活動	企画展・講座の開催回数	回	企画展・講座の開催回数	31	30	30	30	30
成果	維持管理上の不具合・トラブル件数	回	維持管理上の不具合・トラブル件数	0	0	0	0	0
				3	1	0	0	

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	丹波布伝承館管理・運営事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 青垣支所	所属長	杉上 厚史	担当者	足立 耕平	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	丹波布伝承館管理・運営事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
		①		②		
根拠法令・個別計画等	丹波布伝承館条例					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	全ての市民、施設利用者、丹波布技術継承者				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> ・国選択無形文化財である丹波布の伝統技術の保存と伝承を行っていくことで、市民が丹波布に関する理解を深めるとともに伝統技術を継承しつつ、商品の多様化や丹波布の販路拡大により付加価値が高まっている。 ・丹波布の伝統技術の保存や伝承を担う基盤組織が整っている。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成のための長期伝承教室の開催 ・短期(5日間)教室の開催 ・新人創作展等各種企画展の開催 ・学校の体験学習の受け入れ、出前講座の開催 ・染、織等の体験教室の開催 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期伝承教室の開催 ・短期教室・体験教室等の開催 ・各種企画展開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期伝承教室の開催 ・短期教室・体験教室等の開催 ・各種企画展開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期伝承教室の開催 ・短期教室・体験教室等の開催 ・各種企画展開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期伝承教室の開催 ・短期教室・体験教室等の開催 ・各種企画展開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期伝承教室の開催 ・短期教室・体験教室等の開催 ・各種企画展開催
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波布技術保存と継承者育成 丹波布伝承館指導員賃金2,406千円、地域おこし協力隊謝礼金1,992千円、活動助成金2,000千円 手紡ぎ・糸染色等手数料166千円、加工用原料費371千円 				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	13,187	16,989	16,743	16,417	16,394
直接事業費A	5,995	9,797	9,703	9,377	8,815
職員従事者数(人・年)B	0.399	0.399	0.40	0.40	0.40
人件費C=B×7,500千円	3,192	3,192	3,040	3,040	3,000
非常勤職員従事者数(人・年)D	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費E=D×2,000千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
特定財源	1,876	2,428	4,005	3,148	3,992
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	1,876	2,428	4,005	3,148	3,992
一般財源	11,311	14,561	12,738	13,269	12,402

3. 指標等の進捗管理

目 標 達 成 状 況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	丹波布伝承館来館者数	人	丹波布伝承館への来館者人数	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
				19,962	18,253	20,434	18,782	
活動	各種講座等の開催回数	回	講座等の開催回数	15	15	15	15	15
				15	15	15	15	
成果	丹波布伝承者数	人	丹波布長期伝承教室修了者数	60	60	69	69	77
				60	60	67	67	
成果	維持管理上の不具合・トラブル件数	回	維持管理上の不具合・トラブル件数	0	0	0	0	0
				1	0	2	2	

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	春日住民センター管理事業					事業No.	
事業担当課	まちづくり部 春日支所	所属長	澤田 知寿	担当者	安達 知史		
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	春日住民センター管理事業			
	新規・継続・臨時区分	継続					
	会計区分	一般					
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち				
		②					
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう				
		②					
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②			
		①		②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立住民センター条例、丹波市立住民センター条例施行規則						
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	主に春日地域で生活する市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や憩いの場として、多くの方の利用。 安全で効率的な施設運営。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	閉館日:年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 開館時間:9時00分～22時00分 運営方法:直営 受益者負担:すべて1時間当たりの金額 下段は冷暖房費 料金は市内料金、市外は2倍 大会議室300円、小会議室、談話室150円、研修室、視聴覚室、和室、創作実習室200円、調理実習室280円 " 150円、 " 50円、 " 100円 " 100円				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設の維持管理、運営を行う。 施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	避難所用テレビ設置(アンテナ・電源・テレビ購入) 光熱水費:2,100千円、修繕料:500千円、施設管理委託料:4,268千円、保守点検委託料:1,385千円、施設警備委託料209千円、施設清掃委託料:1,333千円等				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	21,173	23,141	22,228	23,125	21,621
直接事業費A	10,633	13,161	10,908	11,805	10,971
職員従事者数(人・年)B	0.57	0.50	0.70	0.70	0.62
人件費C=B×7,500千円	4,560	4,000	5,320	5,320	4,650
非常勤職員従事者数(人・年)D	2.99	2.99	3.00	3.00	3.00
人件費E=D×2,000千円	5,980	5,980	6,000	6,000	6,000
特定財源	905	1,105	1,105	1,224	1,314
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	563	745	745	960	972
その他特財	342	360	360	264	342
一般財源	20,268	22,036	21,123	21,901	20,307

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	春日住民センター利用件数	件	年間延べ利用件数	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650
				1,740	1,764	1,832	1,884	
成果	春日住民センター利用人数	人	年間延べ利用人数	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000
				26,977	36,133	36,859	38,197	
成果	春日住民センター稼働率	%	時間稼働率	25	25	18	18	18
				21.9	19.7	18.3	18.3	
成果	春日住民センター維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合により利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	

令和元年度 総合計画実施計画表

事務事業名	春日体育センター管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 春日支所	所属長	澤田 知寿	担当者	安達 知史	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	春日体育センター管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
①			②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立スポーツ施設条例、丹波市立スポーツ施設条例施行規則					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

対象(誰を、何を)	春日体育センターを利用する者				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	施設が適切に維持、管理、運営され、利用しやすくなる。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日：年末年始(12月29日～1月3日)、月曜日(月曜日が祝日の場合翌日)を除く毎日 開館時間：9時00分～22時00分 運営方法：直営 1時間あたり利用料金(市内料金)：アリーナ全面630円、アリーナA面310円、B面310円、卓球室210円 " (市外料金) " 1,260円、 " 630円、 " 630円、 " 420円				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	春日体育センターの維持管理経費 光熱水費：276千円、修繕料：300千円、保守点検委託料：27千円等				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	2,716	2,528	3,779	1,542	1,616
直接事業費A	2,136	2,108	2,159	762	696
職員従事者数(人・年)B	0.07	0.05	0.20	0.10	0.12
人件費C=B×7,500千円	560	400	1,520	760	900
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.01	0.01	0.05	0.01	0.01
人件費E=D×2,000千円	20	20	100	20	20
特定財源	490	760	760	762	770
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	454	700	700	720	720
その他特財	36	60	60	42	50
一般財源	2,226	1,768	3,019	780	846

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標	
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	
	成果	春日体育センター利用件数	件	年間延べ利用件数	650	650	650	650	650
					590	619	625	728	
	成果	春日体育センター利用人数	人	年間延べ利用人数	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500
14,824					13,138	14,155	18,804		
成果	春日体育センター稼働率	%	アリーナのための稼働率を計上	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
				12.9	16.8	12.8	18.9		
成果	春日体育センター維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合により利用できなかった件数	0	0	0	0	0	
				0	0	0	0		

令和元年度

総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	春日総合運動公園管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 春日支所	所属長	澤田 知寿	担当者	安達 知史	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	春日総合運動公園管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②			
	①		②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立スポーツ施設条例、丹波市立市民プール条例、丹波市立スポーツ施設条例施行規則					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	春日総合運動公園を利用する者				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	施設が適切に維持、管理、運営され、利用しやすくなる。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	<p>開館日：年末年始(12月29日～1月3日)、月曜日(月曜日が祝日の場合翌日)を除く毎日 開館時間：9時00分～22時00分 運営方法：直営、レジャープールのみ指定管理 1時間あたり利用料金： (市内)スタジアム1,360円、テニスコート全面2,080円、1面520円、多目的グラウンド全面520円、半面260円 (市外) " 2,730円、 " 4,200円、 " 1,050円、 " 1,050円、 " 520円 本部、放送室1,050円、審判室・会議室・記者室・湯沸室、更衣室150円(市内外とも)/1時間 照明：スタジアム2,100円/30分、テニスコート全面2,080円/1時間、1面520円/1時間、 多目的グラウンド全面1,570円/30分 多目的グラウンド半面780円/30分</p>				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。	・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	春日総合運動公園スタジアム外部トイレ改修工事：11,084千円等 光熱水費：6,198千円、修繕料：1,054千円、施設管理委託料：6,393千円、保守点検委託料：1,892千円、施設警備委託料：70千円、工事請負費：11,084千円等				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	32,139	26,503	28,601	41,747	38,413
直接事業費A	23,019	18,103	18,041	31,187	29,563
職員従事者数(人・年)B	0.39	0.30	0.60	0.60	0.38
人件費C=B×7,500千円	3,120	2,400	4,560	4,560	2,850
非常勤職員従事者数(人・年)D	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
人件費E=D×2,000千円	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
特定財源	3,681	4,475	4,475	4,382	11,155
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	3,200	3,300	3,300	3,420	3,609
その他特財	481	1,175	1,175	962	7,546
一般財源	28,458	22,028	24,126	37,365	27,258

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	春日総合運動公園利用件数	件	年間延べ利用件数	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
				8,864	9,055	8,935	8,321	
	春日総合運動公園利用人数	人	年間延べ利用人数	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000
				43,431	36,353	35,590	39,057	
春日総合運動公園稼働率	%		野球場、テニスコート、多目的グラウンドの平均値	15.0	15.0	20.0	20.0	20.0
				14.2	19.8	20.8	21.6	
活動	春日総合運動公園維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上に不具合により利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	山南住民センター管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 山南支所	所属長	田原 弘義	担当者	藤原 宝羅	難波 善友
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	山南住民センター管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
		①		②		
根拠法令・個別計画等	丹波市住民センター条例					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	主に山南地域で生活する市民				
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に市民が施設を利用している。 ・効率よい利用ができるようにする。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 開館時間: 9時00分～22時00分 受益者負担: 丹波市立住民センター条例に基づき使用料を徴収している。 <ul style="list-style-type: none"> ・良好な施設の維持、管理、運営を行う。 ・施設利用の受付を行う。 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 ・空調設備改修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な施設の維持管理、運営を行う。 ・施設利用の受付、使用料徴収等を行う。
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の受付、使用料徴収。 ・住民センターの良好な使用環境のための維持管理経費。 需用費 4,744千円 役務費 544千円 施設管理委託料 4,112千円 保守点検委託料 2,008千円 施設警備委託料 30千円 施設清掃委託料 305千円 使用料及び賃借料 370千円 備品購入費等 48千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	115,008	48,388	57,302	19,791	20,411
直接事業費A	87,008	14,388	24,702	11,815	12,161
職員従事者数(人・年)B	3.50	3.50	3.50	0.26	0.30
人件費C=B×7,500千円	28,000	28,000	26,600	1,976	2,250
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00
人件費E=D×2,000千円	0	6,000	6,000	6,000	6,000
特定財源	976	1,621	12,484	1,129	1,117
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	11,400	0	0
受益者負担金	0	0	903	769	757
その他特財	976	1,621	181	360	360
一般財源	114,032	46,767	44,818	18,662	19,294

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	山南住民センター利用件数	件	年間延べ利用件数	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
				1,037	1,224	1,284	981	
成果	山南住民センター利用人数	人	年間延べ利用人数	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
				16,865	25,209	24,443	24,432	
成果	山南住民センター稼働率	%	実利用枠数÷全利用枠数	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
				30.0	8.9	30.2	11.0	
成果	山南住民センター維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	B&G海洋センター等管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部 山南支所	所属長	田原 弘義	担当者	山下 淳	難波 善友
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	B&G海洋センター等管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
①			②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立スポーツ施設条例					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	社会体育施設を利用する市民及び社会体育施設を利用しない市民				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ活動の場として有効利用する。 施設を利用したことのない市民にも、生涯スポーツの場として利用してもらえるようにする。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)、月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)を除く毎日 開館時間: 9時00分～22時00分 受益者負担: 丹波市立スポーツ施設条例に基づき使用料を徴収している。 <ul style="list-style-type: none"> 施設を安心して利用できるように状態に維持管理する。 利用者に公平に施設を貸し出す。 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	丹波市立山南B&G海洋センター体育館及び山南武道場の施設維持管理 B&G財団主催事業、兵庫県地域海洋センター連絡協議会及び近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会事業への参加	丹波市立山南B&G海洋センター体育館及び山南武道場の施設維持管理 B&G財団主催事業、兵庫県地域海洋センター連絡協議会及び近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会事業への参加	丹波市立山南B&G海洋センター体育館及び山南武道場の施設維持管理 B&G財団主催事業、兵庫県地域海洋センター連絡協議会及び近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会事業への参加	丹波市立山南B&G海洋センター体育館及び山南武道場の施設維持管理 B&G財団主催事業、兵庫県地域海洋センター連絡協議会及び近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会事業への参加	丹波市立山南B&G海洋センター体育館及び山南武道場の施設維持管理 B&G財団主催事業、兵庫県地域海洋センター連絡協議会及び近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会事業への参加
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用の受付、使用料徴収。 海洋センター体育館及び武道場の良好な使用環境のための維持管理経費。 B&G海洋センター主層少年少女全国大会への派遣を行う。 B&G海洋センタープールを設置している山南中央公園(山南地域組合中学校建設候補地となっているため、財団との協議を実施する。 旅費 270千円 需用費 1,134千円 役員費 49千円 施設管理委託料 2,069千円 保守点検委託料 25千円 使用料及び賃借料 21千円 負担金補助及び交付金等(選手等派遣費含む) 364千円 				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	10,718	10,319	9,782	8,041	7,682
直接事業費A	4,638	4,239	4,006	3,937	3,932
職員従事者数(人・年)B	0.76	0.76	0.76	0.54	0.50
人件費C=B×7,500千円	6,080	6,080	5,776	4,104	3,750
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	428	400	461	474	456
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	408	240	300	300	204
その他特財	20	160	161	174	252
一般財源	10,290	9,919	9,321	7,567	7,226

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	山南B&G海洋センター利用件数	件	年間延べ利用件数	700	700	700	700	700
成果	山南B&G海洋センター利用人数	人	年間延べ利用人数	399	378	271	269	17,000
成果	山南B&G海洋センター稼働率	%	実利用枠数÷全利用枠数	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
成果	山南B&G海洋センター施設維持管理上の不具合	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	7,145	5,171	5,712	4,718	20.0
				20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
				6.0	4.3	2.8	4.1	0
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

令和元年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	山南中央公園管理事業				事業No.	
事業担当課	まちづくり部	山南支所	所属長	田原 弘義	担当者	藤原 宝羅 難波 善友
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	山南中央公園管理事業		
	新規・継続・臨時区分	継続				
	会計区分	一般				
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち			
		②				
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう			
		②				
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②		
①			②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立スポーツ施設条例					
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期 年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	社会体育施設を利用する市民及び社会体育施設を利用しない市民				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ活動の場として有効利用する。 施設を利用したことのない市民にも、生涯スポーツの場として利用してもらえるようにする。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)、月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)を除く毎日 開館時間: 9時00分～22時00分 受益者負担: 丹波市立スポーツ施設条例に基づき使用料を徴収している。 <ul style="list-style-type: none"> 施設を安心して利用できるような状態に維持管理する。 利用者に公平に施設を貸し出す。 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	山南中央グラウンド・山南農業者等体育施設・テニスコートの運営及び施設管理	山南中央グラウンド・山南農業者等体育施設・テニスコートの運営及び施設管理	山南中央グラウンド・山南農業者等体育施設・テニスコートの運営及び施設管理	山南中央グラウンド・山南農業者等体育施設・テニスコートの運営及び施設管理	山南中央グラウンド・山南農業者等体育施設・テニスコートの運営及び施設管理
令和元年度事業及び積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用の受付、使用料徴収。 中央公園グラウンド、農業者等体育施設、テニスコートの良好な使用環境のための維持管理経費。 山南地域統合中学校建設候補地のため、関係機関との協議を実施。 需用費 3,936千円 役務費 134千円 施設管理委託料 4,189千円 保守点検委託料 247千円 備品購入費等 395千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	11,658	11,004	12,195	10,250	10,326
直接事業費A	10,218	9,564	10,827	8,806	8,901
職員従事者数(人・年)B	0.18	0.18	0.18	0.19	0.19
人件費C=B×7,500千円	1,440	1,440	1,368	1,444	1,425
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	0	0
特定財源	1,627	1,440	1,560	1,608	1,752
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	1,627	1,440	1,560	1,608	1,752
その他特財	0	0	0	0	0
一般財源	10,031	9,564	10,635	8,642	8,574

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	山南中央公園利用件数	件	年間延べ利用件数	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
				1,096	1,332	1,041	1,004	
成果	山南中央公園利用人数	人	年間延べ利用人数	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
				38,421	30,102	27,167	24,963	
成果	山南中央公園稼働率	%	実利用枠数÷全利用枠数	20.0	50.0	50.0	30.0	30.0
				10.0	16.0	12.8	12.4	
成果	山南中央公園施設維持管理上の不具合	件	維持管理上の不具合・トラブルにより利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	

令和元年度 総合計画実施計画表

事務事業名	ライフピアいちじま管理事業				事業No.	6107	
事業担当課	まちづくり部 市島支所		所属長	近藤 克彦	担当者	吉見麻美子	
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	ライフピアいちじま管理事業			
	新規・継続・臨時区分	継続					
	会計区分	一般					
総合計画の位置づけ	まちづくり目標	①	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち				
		②					
	施策目標	①	5-5【生涯学習】一人一人が生涯を通じて学び鍛え地域に貢献しよう				
		②					
	施策の展開	①	③生涯学習施設の管理	②			
		①		②			
根拠法令・個別計画等	丹波市立住民センター条例、丹波市立住民センター条例施行規則、丹波市立市島いきがい創造いこいの家条例						
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度

対象(誰を、何を)	施設を利用する市民				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に市民が利用できるようにする。 ・効率よい利用ができるようにする。 				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	開館日：年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 開館時間：9時00分～22時00分 運営方法：直営 受益者負担：丹波市立住民センター条例に基づく使用料を徴収 <ul style="list-style-type: none"> ・良好な施設の維持、管理、運営を行う。 ・施設利用の受付等を行う。 				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運営。 ・施設利用の受付、使用料徴収。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運営。 ・施設利用の受付、使用料徴収。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運営。 ・施設利用の受付、使用料徴収。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運営。 ・施設利用の受付、使用料徴収。 ・雨漏り修繕工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運営。 ・施設利用の受付、使用料徴収。
令和元年度事業及び積算内容	ライフピアいちじまの維持管理経費 光熱水費：7,744千円、修繕料：2,453千円、施設管理委託料：5,440千円、保守点検委託料：3,789千円、施設警備委託料167千円、施設清掃委託料：1,350千円等				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	33,148	38,230	32,562	36,661	30,003
直接事業費A	25,368	30,450	24,950	29,049	22,433
職員従事者数(人・年)B	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
人件費C=B×7,500千円	3,360	3,360	3,192	3,192	3,150
非常勤職員従事者数(人・年)D	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21
人件費E=D×2,000千円	4,420	4,420	4,420	4,420	4,420
特定財源	990	1,162	1,162	929	926
国・県支出金	0	0	0	0	0
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	690	792	792	540	540
その他特財	300	370	370	389	386
一般財源	32,158	37,068	31,400	35,732	29,077

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
成果	ライフピアいちじま利用件数	件	年間延べ利用件数	1,100	1,100	1,100	1,000	1,000
				789	1,058	818	718	
成果	ライフピアいちじま利用人数	人	年間延べ利用人数	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
				19,164	19,479	29,890	24,481	
成果	ライフピアいちじま稼働率	%	年間利用件数/年間開館日数	50	50	50	2	2
				2.2	2.9	2.3	2.0	
成果	ライフピアいちじま維持管理上の不具合・トラブル件数	件	維持管理上の不具合により利用できなかった件数	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	

